

改善提案票



<p>件名 脳卒中片麻痺者のベッド環境調整(非麻痺側から起き上がる)</p>	<p>職場コード() TEL() マツダ病院リハビリテーション科 課/Gr 係 職場</p>	<p>提出日 10月20日</p>
<p>今までのやり方(問題点および不具合の内容を定量的に記入) 脳卒中片麻痺患者の入院時のベッド環境において、ベッドからの起き上がり方向が麻痺側の場合があり、患者が自身で起き上がりにくい現状があった。この環境は、患者にとって身体的・精神的負担となり、さらには介助するスタッフの身体的、時間的負担が大きかった。 *1例当たりに要するスタッフの介助時間 → 詰所から病室までの移動時間と介助時間で合計5分 *4例/月の実践実績</p>	<p>新しいやり方(実施内容と得られた効果を定量的に記入) 入院時に麻痺側の状態を把握し、非麻痺側から起き上がれるようにベッド環境を調整する。これにより、起き上がり動作が全介助→介助量軽減もしくは不要になる可能性があり、早期より日常生活動作能力向上が期待できる。また、介助の際の体幹の屈曲、回旋動作の回数減によるスタッフの腰痛などの予防にもなる と期待される。 <small>くふうした点</small> 科内だけでなく、病棟への展開と共有をした。</p>	

略図

